

国府支援学校整備の概要について

国府支援学校は、児童生徒数の増加に伴う狭隘化や施設の老朽化という課題を抱えていることから、令和 2 年度に設置した「新しい時代の特別支援学校の在り方検討委員会」においても、「早急な教育環境の改善」が求められた。

改善にあたっては、「徳島教育大綱」に位置づけ推進している「ダイバーシティとくしま」の実現に向け、「ダイバーシティの先導モデル」として機能強化を図るため、改築に向けた準備を進めており、昨年 11 月末に「新校舎棟」や「新体育館棟」などの全体の基本設計を終えた。

本プロジェクトの先駆けとなる「新校舎棟」には、「教室」や「図書室」を備え、卒業後の生活を踏まえた社会体験のための施設を整備する「ダイバーシティ棟」には、接客実習を行う「カフェレストラン」や職業スキルを高める「ビルメンテナンス実習室」、地域の方々との交流拠点となる「多目的ホール」などを備える。

イメージ図



<新校舎棟>



教室



図書室

<ダイバーシティ棟>



カフェレストラン



ビルメンテナンス実習室



多目的ホール

○今後のスケジュール（案）

- ・埋蔵文化財発掘調査 令和 4 年 4 月～令和 5 年 1 月（第二期）
- ・新校舎棟の関連工事 令和 4 年 9 月～
- ・新体育館棟の実施設計 令和 4 年 9 月～
- ・寄宿舍棟の改修工事 令和 4 年 9 月～